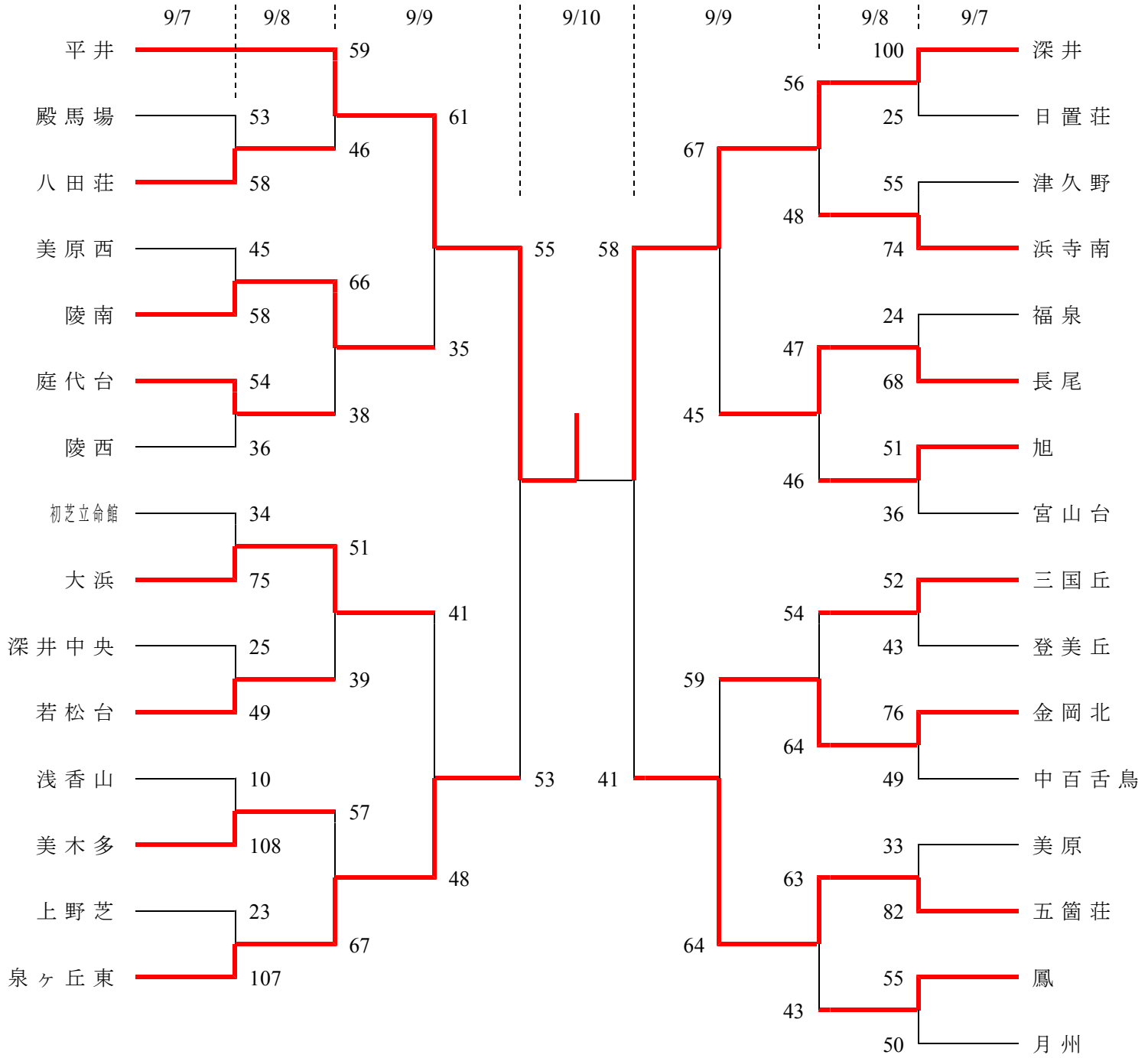


2012年度堺市総合体育大会

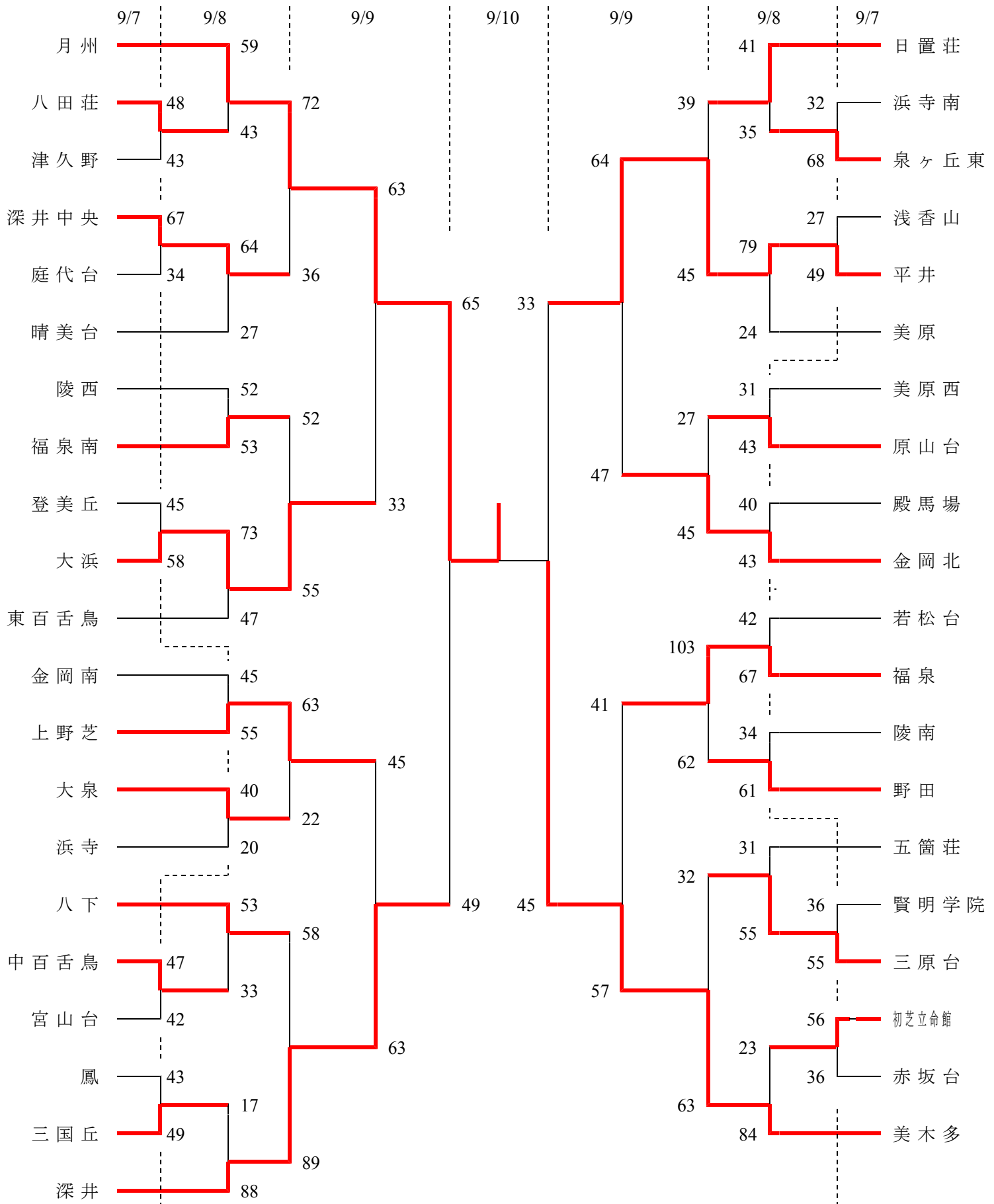
男子の部



決勝

平井	7	6	-	6	1	深井
	21	10		11		
	21	20		12		
	16	30		12		
	18	40		26		

女子の部



決勝

月州	6	3	-	4	1	美木多
	21	1Q		9		
	8	2Q		11		
	19	3Q		13		
	15	4Q		8		

男子決勝戦評 平井 76 - 61 深井

平井④⑤⑥⑦⑧でオールコートマンツーマン、深井④⑤⑥⑪⑭で3-2ゾーン。平井が⑦から⑤へのハイローで先制。その後も平井⑤⑦がインサイドからゲームを作り、⑥のドライブや④の3Pで加点していく。対する深井は⑭の3Pや④⑦のスティールからの速攻で対抗する。しかし、インサイドを支配した平井がリズムをつかみ、21-11と10点のリードをつける。

第2Qでも平井はリズムを崩さず⑧のミドルシュートや⑤のポストプレーで着実に得点を重ねる。深井は積極的に1対1を仕掛けるが、突破することができず、苦しいシュートが続く。深井⑪がインサイドで奮闘し流れを変えようとするも、平井も譲らず、42-23とリードを広げる。

後半に入り、互いに流れをつかもうとするものの、一進一退の攻防となり、点差は変わらず最終Qを迎える。

深井はオールコートにディフェンスを変え、平井のミスを誘い最後まであきらめることなく、粘り強く闘い続ける。平井は⑰を投入し、早い展開のバスケットとなる。最後まで平井⑤⑦がインサイドでがんばり続け、76-61で平井が栄冠を手にした。

(岩橋、福渡)

女子決勝戦評 月州 63 - 41 美木多

月州⑩⑪⑫⑭⑮で1-1-3ゾーン、美木多④⑤⑥⑦⑬でハーフコートマンツーマン。先に流れをつかんだのは月州であった。月州⑪⑫のシュートが効果的に決まり、勢いに乗って攻め続ける。対する美木多も⑦がリバウンドやルーズボールをがんばり、そこから反撃につなげていく。しかし、月州の1-1-3ゾーンを攻め崩すまでには至らず、21-9と月州がリードして第1Qを終える。

第2Qでは月州⑫が切れ味鋭いドライブから得点を決め、流れを譲らない。美木多は④が状況を打開しようと、勝負どころでがんばりをみせ、相手のファウルを誘う。一進一退の攻防が続く中、29-20と月州リードのまま前半を終える。

後半開始から月州はディフェンスをマンツーマンに変化させる。ボールマンへのプレッシャーを強める中、月州はファウルトラブルに陥っていく。しかし、美木多がフリースローを確実に決めることができず、得点差は縮まらない。月州はオフェンスリバウンドやルーズボールへのがんばりから、高いシュート率で着実に点差を広げていく。追いすがる美木多ではあるが、月州の激しいプレッシャーをはね返すことができない。48-33。

第4Qでは美木多が前からボールにプレッシャーをかけ、起死回生を図るものの、月州の優位は変わらない。最後までアグレッシブさを失わなかった月州が63-41で優勝を決めた。

(塩井)